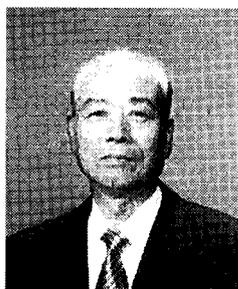


平成 16 年 6 月 1 日

創 刊 号

NPO 法人
加治丘陵山林管理グループ



創刊号発刊に当って

理事長 小澤盛久

当グループは、入間市の里山を主な対象とし、人と自然との「ふれあいの場」として共有するため、山林の活用を進めながら、環境整備に寄与することを目的に、平成 15 年 4 月 10 日埼玉県知事の認証を得、NPO 法人（特定非営利活動法人）を設立しました。この背景には「入間市加治丘陵保全計画」や「さいたま緑のトラスト保全 6 号地の指定」があり、424 ヘクタールの環境整備に拍車がかかっています。加治丘陵を何気なく歩いた私は現状を見て、自然環境の整備の必要性を強く感じ、当入間市長へ提言したことから始まり、これからは小、中学生の野外学習の場として、入間市唯一の里山を美しくして、子孫へ譲り渡す強い意志で活動しています。現在正会員 207 名、賛助会員 54 社となり、各方面より大きな期待が寄せられています。今後更なる活動をお誓いして発刊に当りご挨拶申し上げます。



会報創刊を祝して

入間市長 木下 博

常日頃から、市政にご協力、ご支援を賜り、誠に有難く深く感謝申し上げます。この度、貴会の会報創刊を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。加治丘陵は、多くの野生生物が生息する自然の拠点であり、昔から人々の生活と密着し、入間市の文化を支えてきた「さとやま」です。入間市では「さとやま計画」により恒久的な保全を図り、貴重な緑地を後世に伝えるために、「加治丘陵の自然は、子孫や未来の市民からの預かりものである」との考えに立ち、丘陵の自然を守りぬいていくことが行政の責務であると考えて公有地化を進めており、これまでに公有地化した面積は約 50 ヘクタールとなりました。大きな面積を擁する加治丘陵の土地利用の方針として「自然体験区域」「自然環境研究区域」「自然活用区域」「自然観察区域」「文化交流区域」の 5 つの区域に別けてそれぞれに保全と活用を区別したものであります。

貴会は、このさとやま計画の趣旨を理解され、NPO 法人として小澤理事長をはじめ、12 名の理事によって多くの事業活動が実践されていることに改めて敬意を表し、会員皆様方のこれまでの活動に感謝申し上げる次第であります。

今後、公有地化した「山林の保全と管理」の面からも多くの労力が必要となってきますが、NPO 法人である貴会の会員の皆様方と行政との協働により、市の事業が的確に推進できますようご協力をお願い申し上げ、会報創刊にあたりましてお祝いの言葉とさせていただきます。

NPO法人創立記念式典の開催

(平成15年6月29日 入間市産業文化センターにて)

当初任意グループで発足し加治丘陵の下草刈、枝打ち、間伐等の作業活動を永続し後世に引き継ぐ目的で、NPO法人(特定非営利活動)を設立しました。

その記念式典に入間市長 木下 博 様 はじめ多数のご来賓をお迎えして開催されました。

市長は、祝辞と共に揮毫の「仁者乐山」と書かれた扁額を贈呈して下さいました。それは、「徳を極めた人は、自然を愛し好まれる」の意味だそうです。



扁額の贈呈式

活動状況

任意グループで発足して2年が経過します。この2年間は大変苦勞を重ねましたが、今は順調に活動しています。

当初は、毎月第2日曜日の1回、間伐期(11月~2月)には、毎月第2と第4日曜日の2回の作業日を設定して進めて来ました。

平成15年4月には、念願のNPO法人の認証を得、新たな活動を推進してきました。作業日には大勢の参加で進めながら、その間女性会員も増え、積極的に取り組んでいます。

また、平成16年1月には、入間市との加治丘陵の業務委託契約が締結され、全会員更なる意欲を燃やして活動しています。

作業をしながら四季の変化を肌で感じるのも、心が豊かになり、参加するのが楽しくなります。



女性もおおはりきり

発足以来2年間の活動実績です。

年度	作業回数	作業面積	参加人員
平成14年度	12回	8,653 m ²	260名
平成15年度	25回	31,423 m ²	567名



皆さん良い汗かいています

今後の活動予定

平成16年度も引き続き入間市より業務委託契約が予想されます。

定時作業日を毎月2回と臨時作業日を設け活動の予定です。作業予定表は、各会員のお手元に配布されていますので、上期分だけ下記に掲載しますので参考にして是非参加ください。

月	定時作業日	臨時作業日
6月	13日・20日	2日・9日・16日
7月	11日・25日	7日・21日
8月	8日・22日	
9月	12日・26日	8日・15日・29日

森林視察研修・バーベキュー大会

レポート (山畑 博)

当グループでは、昨年8月30日(土)奥多摩御岳方面での森林視察研修と親睦会(バーベキュー大会)を開催し、参加者53名は貸切バスで御岳に到着後、特別参加をしていただいた入間市環境経済部長 瀧澤啓次様から加治丘陵の整備計画及び今後の予定等についての講話をうけた。

森林作業の安全対策について武藤副理事長から資料を基に説明を受けた後、楽しみの親睦会がはじまった。

53名の胃袋を満たすため、調理方は大忙し、大きなビニールシートにはいくつかの輪ができ、飲んで、食べて会話がはずんでいた。楽しい雰囲気の中、民謡合唱などあって、たっぷり英気を養った会員たちを乗せた貸切バスは、無事に入間市へ帰着、解散した。



研修会風景

寄稿文

副理事長(作業総括) 山畑 博

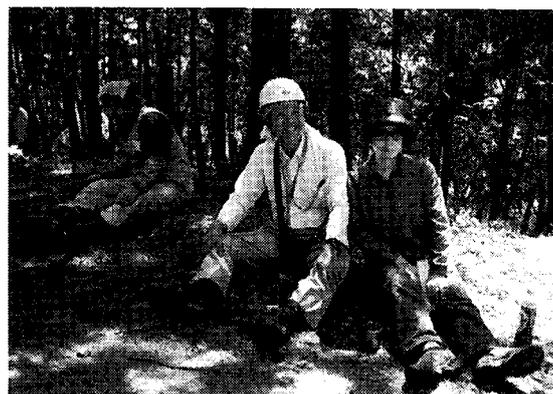
新緑の加治丘陵に爽やかな風が吹き、チェーンソーや刈払機のエンジン音が響く山の斜面で男達が鋸や鎌を持ち、這うようにして作業をしている。ヘルメットの下から汗がしたたり落ちる。一休みして飲むお茶の旨さよ。

会 員(広報副班長) 菅田五郎

私が加治丘陵山林管理グループに入会しようと思ったのは、“加治丘陵の緑を守り、昔のように沢ガニが棲み蛍が舞うような自然を取り戻そう”という呼びかけに素直に共鳴したからです。山を歩き森林浴を楽しみながら四季の草花をめぐる、一石二鳥にも三鳥にもなる定年後の最高の余暇活動になっています。

副理事長(機材班長) 武藤 茂

装備されたチェーンソーや刈払機等の動力機材は、全員が交代で使用するため事故なく安心して扱える様機材の整備と性能維持に努力を傾注しております。



作業の後の一休み

定時総会開催のお知らせ

日 時:平成16年6月6日(日)午後1時より

場 所:入間市市民活動センター(旧保健センター)

- 大勢の出席をお待ち申し上げます。

カブト虫採集の集い

当グループでは里山の楽しさを実感していただくため入間市児童センターと共同で成虫発生時期に合わせて児童・生徒向け自然体験学習を企画しました(詳しくは入間市児童センターに掲示してあります。)

入会のお誘い

当グループでは、加治丘陵の保全と環境に興味のある方(正会員)及び企業(賛助会員)を募集しております。

会員になって我々の活動を支えてください。

- 我々はボランティアで活動しております。
- たくさんの仲間が汗を流して頑張っています。
- 年会費
正会員 個人 2,000円
賛助会員 会社又は団体 1口10,000円
- 連絡先 04-2966-3131 小澤盛久

役員紹介

よろしくお願いいたします。

理事長	小澤盛久		
副理事長	武藤 茂	副理事長	山畑 博
副理事長	石川 實		
理事	木内勝司	理事	粕谷義久
理事	木村道洪	理事	浅見鉄之助
理事	大山 博	理事	山川英男
理事	浦邊節三郎	理事	西澤久男
理事	杉野喜久		
監事	西澤立郎	監事	小池國晃

森林視察研修会・バーベキュー大会

開催のおしらせ

昨年の盛り上がり振り、会員の期待にこたえて本年も8月29日(日)横瀬町にて開催いたしますので振るってご参加ください。

なお、集合場所・時間等詳細については、追ってお知らせいたします。

自然環境に関する研修会

さる5月15日~16日の両日に第1回全国環境再生医シンポジウム in 入間が入間市農村環境改善センターにて開催され、当グループも共催として参加いたしました。

16日は、当グループの作業日でもあり会員の指導により活動地で植樹祭及び体験作業を実施いたしました。参加者は、植樹する楽しさを味わい、樹木の成長を楽しみにしております。また体験作業では森林の管理の基本である下刈りを行い、その作業の大切さを痛感しておりました。



成長を祈っての植樹

編集後記

おかげさまで入間市長をはじめ多くの方々よりご寄稿をいただき、この度創刊号の発刊に到りましたこと、改めてご協力に感謝申し上げます。今後は、楽しく充実した内容を心掛けたいと存じます。

より一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。(粕谷義久)

発行責任者 小澤 盛久

住 所：〒358-0023 入間市扇台3-1-1 TEL 04-2966-3131